

杵商だより

221号
2019.9.24
(R1-3)

校訓 **信愛熱**

スクール
NEWS



佐賀県立杵島商業高等学校

〒849-2101 佐賀県杵島郡大町町大字大町 2039

TEL (0952) 82-3241 FAX (0952) 71-3008



杵島商業高校

検索

2学期の始まりにあたって



令和元年度第2学期が始まりました。夏休みの終わりには大雨による災害が発生し、本校においても2学期の始業式を順延し、2日間の臨時休校として対応しました。おかげさまで本校校舎・施設への直接の被害はありませんでしたが、今回の災害で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方へお見舞いを申し上げます。本校生徒の中にも被災し、自宅から学校に通うことのできない生徒もおります。一刻も早い復旧・復興がなされることを心よりお祈り申し上げます。

休校後の8月30日(金)は始業式と午後から夏休みの課題テストを予定していましたが、朝の朝礼前に生徒会長の黒木大旗君が校長室を訪れ生徒有志によるボランティア活動の提案がありました。まだ佐世保線も不通で、多くの生徒が学校に登校できない状況でしたので、先生方に相談し、課題テストは延期し、午後からはボランティア活動に変更しました。被害が大きかった武雄市街や大町町の福母地区にはまだ冠水により道路が寸断され入ることができませんし、生徒の移動のための交通機関も確保することができませんでした。まずは、自分の安全確保を最優先し、自宅が被災した生徒は自宅の手伝い。自宅が被災していない生徒は近所に被災された住宅がある場合は各地域のコミュニティーで活動。被災の無かった地域は、有志を募り日頃から通学でお世話になっている大町駅や大町商店街等で生徒の販売実習等でお世話になっている各企業に連絡して復旧のお手伝いを指示しました。

移動の手段がありませんので、自転車に乗っている生徒は自転車、あと公用車や教職員の車でピストン輸送を行いました。また、体育祭や就職試験の期日も近づいていましたので、体育祭の準備や進路の履歴書書きなどをしなければならぬ生徒は校内に残りその準備をしました。

これらの生徒のボランティア活動は地域の皆さんから大きく評価され、池田写真館の池田百合子様からは、9月14日(土)付けの佐賀新聞「広場 読者の声」の欄で、「被災地から心より感謝です」という題で投稿いただき、本校のボランティア活動について、県民の皆様にご紹介いただきました。

今回の災害は過酷なものとなりましたが、生徒の困難に直面した時の対応力とその成長を目の当たりにし、嬉しく思うとともに、これからは「地域に愛され地域に信頼される学校」となるよう頑張りたいと再確認いたしました。

また、当初、9月7日(土)に予定していましたが、聖陵祭 体育祭も台風13号の接近のため、9日(月)に延期し実施いたしました。順延により各方面にご迷惑をおかけいたしました。保護者の皆様のご協力もあり無事終了しました。ありがとうございました。

2学期 始業式 『勝負の2学期スタート!!』

8月30日(金) 災害による臨時休校の為、一日遅れの始業式が行われました。交通機関の乱れから始業式に参加できない生徒が多くいました。北島校長からは、2学期の学校生活に向けての激励の言葉がありました。

また、本校吹奏楽部が、少人数ながら練習を重ねてきた校歌の伴奏を披露し、それに合わせて全校生徒が校歌を歌いました。吹奏楽部の演奏は、新鮮な感動を与えてくれました。



災害ボランティア

8月30日(金) この度の水害で甚大な被害を受けた大町町周辺。本校生徒も大変お世話になっている大町駅やその近くにある池田写真館に、有志の生徒たちが、災害ボランティアをいち早く行いました。想像を上回る被害状況の中、少しでも役に立つように精一杯のお手伝いをさせていただきました。

酷暑の中、必死に復旧作業をしておられる地域住民の方々が、一日でも早く元の生活に戻られることを祈念いたします。



聖陵祭『体育祭』テーマ：母校愛

- 我が愛すべき学び舎は、この聖陵の地にあり -

9月9日(月) 雨で順延された体育祭が青空の下、行われました。杵島商業高校の最後の体育祭を盛り上げるべく、各団一丸となって、優勝を目指し若いエネルギーをぶつけました。各競技大いに沸き、聖陵祭の体育祭にふさわしい一日となりました。



令和元年 八月豪雨災害義援金のご協力についての御礼

本校生徒会は、体育祭の折、参観に来ていただいた保護者の皆様に、義援金のご協力の呼びかけをさせていただきました。結果として、17,100円 集まりました。佐賀県赤十字に、この度の豪雨災害の義援金として寄付させていただきます。皆様のお心遣いにご感謝申し上げます。